

ϕ_{TH} は平行でない人工ターゲットにおいて $0, \pi$ 以外の値をとり、それ以外のターゲットでは $0, \pi$ に近い値をとることから、人工ターゲット検出能力が他の偏波基底の相関係数と比較して高いことを示している。

第7章において、本研究全体での結論および今後の課題について述べている。

最後に、本研究を進めるにあたり、日頃より熱心

なご指導、適切なお助言を頂きました山口芳雄教授、山田寛喜助教授に深く感謝致します。また、様々な面でご支援頂きました仙石正和教授、間瀬憲一教授、中野敬介助教授、石井郁夫教授に感謝致します。更に貴重な画像データを提供頂きましたNICT（独立行政法人情報通信研究機構）、JAXA（宇宙航空研究開発機構）に感謝致します。